

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1776号 2005年04月25日(月)

《 weak dollar for a while 》

100円寸前で折り返して以来ほぼ一貫してしっかりした足取りを続けて108円台をつけたドル・円相場も、やや「soft-patch」の期間に入ったと思われる。筆者はこのところの2～3号で、やや長い目で見たドル高局面の中でもドルの反落局面が接近していると書いたが、今その時期が始まったように見える。

ドルがしばらく弱い足取りを続けると思えるのは、

1. アメリカの金利先高期待が落ちてきているし、仮に stagflation (景気停滞とインフレの同居) という形での金利上昇を予測するにしても、この単語の前半分の stagnation が気になってドル買いにも力が入らないと思われること
2. しばらく続いたドルの強基調から、ややドル買いに飽きが来ている可能性が高く、すこしポジションが整理されないとドルが再び上に上がる勢いはつきにくいと思慮されること
3. 今週はアメリカの1-3月のGDP統計が発表されるが、たとえそれが良くても市場は「今後のアメリカ」、特に下半期の経済に直ぐ目を移すだろうし、悪ければ余計に今後のアメリカ経済に対する懸念が強まる
4. ニューヨークの株価は引き続き不安定な展開を続けると思慮され、これにともなってアメリカ全体の市場が商品、債券などを含めて不安定に推移する可能性が高い。こうした中では、ドルは上値を追えない

など。しかし対円でも対ユーロでも、ドル相場の下げは限界が見えるものになろう。なぜなら、日本の景気にも不安感は拭えないこと、ペイオフ解禁下での日本の資金には「外物希求」の流れが残って円高になればなるほどその水準で外貨を買おうという傾向が強い、加えて対中国・対韓国などで日本は困難な状況に立たされており、北朝鮮情勢も不安定な中では円を買い進むわけにはいかない、という理由があるから。

円のドル以外の通貨に対する動きを見てみると、円は基本的に非常に大きな脆弱性を抱えた通貨であるということが分かる。具体的にはオーストラリア・ドル、ニュージーランド・ドル、英ポンドなどの高金利通貨に対する円の動き。時々急激に円高になる局面はあるが、その度に絶好の高金利通貨買い・円売りの動きとなっている。これは日本の国内が

ら、資産の多様化のために資金が流出していることを示している。この傾向はしばらく続こう。それは同時に、円高が進めば進むほど、日本国内からは資本がらみの円売り圧力が出ることを意味している。

《 worldwide “soft-patch” 》

今の世界経済を見ると、国際機関が驚くほど世界経済全体が強かった時期から、世界的に「soft-patch」状態が顕著になってきた時期といえる。しかし一方では原油高を背景にしたインフレ上昇懸念があるから、市場全体が不安定になるという展開。商品相場も、株式市場も動きが激しく、落ち着きどころを探している印象がする。

今週もそうした動きが続こう。歴史的に見ても、金利が上昇している間の市場の動きは不安定である。お金が新たな行方を懸命に探すからで、今も商品相場に資金が大きく流れたり、債券相場に戻ったりしている。政治的にも不安定な状況になりつつある。特に中国の状況は、国民一人当たりの GDP が一時の底這い状態から中国自身が目標とする「小康社会」の3000ドルに近づいたが故に、不安定になりつつある。激しい反日デモでの不満横溢は、その一つの兆候と思われる。中国では胡錦濤政権が発足以来、農民一揆や地方役人の不正に対する民衆の怒り、安い労働賃金に反発した工場でのストなどが頻発している。

北朝鮮のように民衆の気力が出ないほど所得が低い間は、社会は案外安定している。しかし、一定の富と情報を得た民衆は、上を知っているだけに社会に対して強い不満を持つ。今の中国はそれに当たる。無論、第二次世界大戦の際に中国を占領し、様々な軍事作戦の中で中国の民衆に多大な迷惑を掛けた日本がターゲットになりやすいことは明らかである。しかし、中国は社会全体が大きな不安定期に入ったと見るのが自然である。経済成長は続くだろうが、中国の不安定化は周辺国家にとって望ましいことではない。

株価は、今週も高下の激しい展開が続こう。世界的にそうである。特にニューヨークの株が安定しないうちは世界の株価の行方は安定しないと考えられる。次の FOMC は5月3日で日本の連休中。今のところ0.25%の引き上げが多いし、筆者もそう思う。

今週の主な予定は以下の通りです。

4月25日(月)	3月企業向けサービス価格指数 米3月中古住宅販売 ブッシュ大統領・サウジ皇太子と会談(テキサス)
4月26日(火曜日)	3月労働力調査 米4月コンファレンスボード消費者信頼感指数 米3月新築住宅販売
4月27日(水)	米3月耐久財受注
4月28日(木)	4月東京都区部消費者物価指数 3月全国消費者物価指数

	3月鉱工業生産（速報）
	3月商業販売統計
	日銀政策決定会合
	日銀「経済・物価情勢の展望」
	福井日銀総裁定例記者会見
29日（金曜日）	米1 - 3月GDP（速報）
	東京市場休場（みどりの日）
	東証シンポジウム（福井日銀総裁講演）
	米1 - 3月雇用コスト指数
	米3月個人所得・支出
	米4月ミシガン大学消費者信頼感指数（改定）
	米4月シカゴ購買部協会景気指数

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。桜は東京都内では見頃は終わりましたが、土曜日に行った富士山の山麓では今が盛りと花弁が全部下を向いた桜が綺麗でしたし、日曜日に狭山湖の霊園に行ったら八重桜が華やかでした。私が行った霊園には、尾崎豊の墓があるのですが、その墓の前では25日月曜日の命日を前にファンが数人たむろして、中にはお墓の前でギターを片手に歌を歌っている人もいました。春の穏やかな日差しの下での絵になるシーンでした。

ところで、先週はニュースがありました。カスタマー・チーフの松本君のお母さんがあわや「振り込め詐欺に……」という大事件。お一人でお住まいなのだそうです。九州に。で、先週の前半に突然お母様に電話が掛かってきた。相手は男の声だったそうで、のっけから「三郎ね……」と言ってしまったというのです。

松本君の話によれば、危ないと思ってお母さんにはかねてより「くれぐれも電話がかかってきても絶対嘘だから信用するな……」と警告しておいたのだそうです。しかし引かなかった。息子の名前を最初に言ってしまった。

相手が使った理由については松本君に直接聞いて頂ければ良いのですが、良かったのはお母さんがお一人ではお金が振り込めない状態だったこと。お母さんはご近所に住む松本君のお姉さんに、「これこれで……」と説明して入金を助けてくれと言った。当然お姉さんは、「おかしい」と思った。ここから全てが判明した。

その時に犯人が「ここに……」と指定したのは京都の金融機関の名前を言ったのだそうです。しばしばこの手の事件では使われるのだそうです。男はケータイ電話の電話番号をお母様に「振り込んだら電話して」と残したそうですが、そこに松本君が掛けたら最後までとぼけたそうです。

私もこれは理解できます。歳を取ると視野狭窄になるし、耳も遠くなる。電話は嬉しい

から、直ぐ身近な人間の名前を言ってしまう。誰の身にも、そして誰の両親にも降りかかってくる問題です。皆様にも、くれぐれもご用心を。

最近長い文章が続いたので、今週はやや短めにしました。また、恐らく来週はお休みします。それでは、皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は、住信基礎研究所主席研究員の伊藤 (E-mail ycaster@gol.com) が作成したものです。許可なき複製、転送、引用はご遠慮下さい。また内容は表記日時に作成された当面の分析・見通しで一つの見方を示したものであり、売買を推奨するものではありません。最終的な判断は、御自身で下されますようお願い申し上げます》